

# 広く深く響く、琉球の音色

沖繩伝統文化である三線は世界中に広がり、ゆったりと響く音色が多くの方々を魅了し、今日では琉球古典音楽や民謡、その他ポップスに至るまで様々なジャンルで用いられ、気軽に楽しんでいただける機会が増えていきます。

沖繩で受け継がれてきた伝統への敬意と愛情と魂を込めて、三線制作・修理を行うのは、昭和36年に設立された新城工作所。

平成14年には県工芸士に認定され、さらに平成21年、厚生労働省認定「現代の名工」を受賞されています。



# 沖繩の海を守る

海に想いを馳せ、同じ気持ちを抱く多くの方々による、サンゴの保全活動が広がっています。

海洋生物にとって、餌場や産卵の場であり、外敵から身を守るためのすみかであるサンゴ礁。

わたしたち人間にとっては海の幸をもたらす漁場であり、自然の防波堤です。

色鮮やかなサンゴの森を楽しむように舞う熱帯魚の群れは、今、地球温暖化と海洋生物の乱獲等により、危機に瀕しています。

「沖繩の海を守る」を心に抱き、大切な役割を担ってくれるサンゴを沖繩の海に植え付けする活動が、浦添市内の沖電開発株式会社をはじめ団体・企業へ着実に広がっています。



## 三線職人塾

「自分で三線を作るなんて、夢みないなことでした」参加は二度目。前回習得したノウハウを少しずつステップアップしています。先生の指導を得ながら世界でたったひとつの三線を作り上げることができて満足です」と、受講者の声。

その目的や目標は様々で、三線を弾くことはできないけれど音色に魅了され三線を作りたい、三線を弾くならマイ三線を作りたい、という人からプロの三線職人を目指す人まで、その門を叩いた人はこれまでに300人を超えます。

卒業生の中には、実際に自分の故郷に戻って三線職人になられた人も、新城工作所の特約店として関西へ進出された人もおり、その活躍の場は益々広がっています。

## てだこの技を語り継ぐ

想いの詰まったこだわりの名器を、大事に使い続けてもらいたい。そこから始まった三線職人塾は浦添市内にある新城工作所で年に約5回、開講されています。

## サンゴ植付

沖電開発株式会社では、多くの協力企業の賛同を得て、サンゴ苗の植え付けを行っています。また、第32回全国豊かな海づくり大会「美ら海おきなわ大会」では、天皇陛下から拝受致しましたサンゴ苗を、浦添・宜野湾海域に植え付けました。

## 環境学習会

県内外の企業や学校、または修学旅行生等を対象に、サンゴを取り巻く環境についての勉強会、体験学習といった環境教育活動を盛んに行っています。

日ごろ、目にするのではない海洋生物やサンゴに触れることで、海を身近に感じてもらう、沖繩の海の豊かさ、サンゴの美しさを多くの子ども達に伝えていきます。



## ちゆくいんど〜三線職人塾

代々受け継がれる三線を自分の手でつくる  
新城工作所の三線職人塾

製作する型は真壁型、与那城型、江戸与那型、南風原型、知念大工型から選べます。受講者ごとにご希望に沿って職人が丁寧にサポートし、世界でひとつの大切なマイ三線を制作することができます。

**新城工作所**  
〒901-2113 浦添市大平1-28-9  
TEL.098-878-2661  
FAX.098-878-2664

講師 宜野座幸勇さん



代表であり、塾長の新城伸治さんは「いい木を使う、いい張りをする、いい取り付けをする」をモットーに、名工の技を伝授し、さらには三線職人としての独立までをサポート。そして琉球の伝統の音色を後世へ広く永く継承したい！という強い想いを確実に実現させているのです。

代表兼塾長 新城伸治さん



## 『100年先にもキレイな海を』

**沖電開発株式会社**  
〒901-2131 浦添市牧港4-11-3  
おきでん牧港ビル6階  
TEL.098-878-3966 FAX.098-878-5563

